

どは、實と云ねど、實のことにになりて、梨の實とは云す。されば、實をもた
毛々と云へし和名抄にも葉類に收て、桃子和名毛々と注し、其外も梨子栗子椎子など、出
せり、然れども桃は花をも賞る木なり、又この様を思ふに、坂本なる毛々とのみいひては、其木のこゝに聞ゆれば、なほ美と訓べきにこそ、

〔日本書紀推古二十二〕二十四年正月、桃李實之。

〔慶長日件錄〕慶長十二年五月十九日、婁沃御方御所へ參、早桃進上之。
〔半日閑話五〕安藝國に佐東新庄と云村有。佐東は北、新庄は南也。其境に桃の木有。佐東の方の枝になる實は苦く、新庄の枝になる實はあまし。

〔增訂豆州志稿七〕土產桃 増田京湯ヶ島ノ二村及初島等ヨリ產出スルヲ最トス、延喜貢物ニ

〔新撰字鏡木〕李 貞士反使
也須毛々。

〔倭名類聚抄十七〕李子 兼名苑云、李音 一名黃吉、和名須

〔箋注倭名類聚抄九〕本草和名李核人條引兼名苑舉四名不及黃吉、杏核條云、一名黃吉、蓬萊杏、已上二名出兼名苑。按齊民要術種梅杏條引廣志曰、鄭中有赤杏有黃杏、又引西京雜記曰、蓬萊杏是仙人所食杏也。兼名苑蓋本之。黃吉卽黃杏之譌。輔仁所見兼名苑既誤作黃吉、然猶爲杏子一名、源君襲之、又誤爲李子一名也。說文李李果也。李時珍曰、李綠葉白花、樹能耐久、其種近百種。○中須毛々依輔仁、新撰字鏡同訓。新井氏曰、酸桃之義。

〔伊呂波字類抄十一〕植物附植物具 李スモノ子

〔古今和歌集十〕すもゝの花

いまいくか春しなければうぐひすもものはながめて思ふべら也。

貫之

〔重修本草綱目啓蒙二十一〕李 斯モノ和名スムメ播州一名木子汝南朱實異名朱仲實
房陵子 韓終子共上 鼠精行厨 玉華同上 李兒字訓蒙憲之群芳青李一名青玉法言物
青綺便典籍 青房同上 碧實異事物碧翠緝珠花一名碧雪法言物仙李行厨九標同上